

国税調査官を逮捕

虚偽答弁容疑 OBも再逮捕

大阪地検

大阪国税局の現職調査官が、同局OBの税理士が関与する会社の税務調査で会社側に虚偽の回答をさせたとして、大阪地検特捜部は28日、改正前の法人税法違反(虚偽答弁)容疑で、同局西税務署所属の上司国税調査官の平良辰夫容疑者(43)と大阪府門真市に逮捕した。同局OBの税理士、細名高司被告(61)は別の事件の同法違反容疑などで再逮捕した。

内部資料流出も解明へ

2人は1993年から2年間、大阪府内の同局税務署に勤務していたと

いう。国税当局は平良容疑者が内部資料を流出させた疑いもあるとみて内部調査中。特捜部は国税当局と連携し「癒着」の実態解明を進める。国税職員は「質問検査権」があり、税務調査を

受けた相手がかつてを答える刑事罰の対象となるが、立件は珍しい。逮捕容疑は2011年7月、平良容疑者が同僚とともに、細名容疑者が関与する飲食店経営会社「M」(大阪市の税務調査をした際、同社側に売り上げを過少に記録したSDカードを提出させた疑い。また、細名容疑者は同社代表者らと共謀し、11年9月期までの2年間に、同社の法人税約2400万円を不正に免れた疑いも持たれている。関係者によると、平良容疑者は03年から07年に、法人の税務調査を

を担当する国税局課税2部の資料調査課に在籍するなど、法人担当が長かった。一方、細名容疑者は神戸税務署上席調査官だった98年、調査先企業に税理士を紹介したとして懲戒免職処分を受けた後、税理士として活動していた。細名容疑者は今春以降、大阪市内で実質的に経営していた税理士法人や顧問先企業の脱税に関与したとして逮捕、起訴された。その捜査の過程で、関係先から同容疑者の顧問先企業に関する国税局の内部資料とみられる文書が見つかった。

岡山県津山市の山中で(当時87)の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑者が供述



記者会見で頭を下げる大阪国税局の山崎総務部長(28日、大阪市中央区)

「信頼回復に努める」

国税局幹部謝罪 職員、相次ぐ立件

「厳粛に受け止め、国民の信頼回復に努める」。大阪市内の同局で記者会見し、平良容疑者の逮捕を受け、見を聞き、謝罪した。大阪国税局の山崎浩平良容疑者が所属して

いた部署は調査能力が認められた調査官が集まる部署という。勤務状態や生活態度は「特に問題はなかった」と聞いている。と説明。問題の税務調査は複数の職員で行われた

が、平良容疑者の役割や不正を見抜けなかったことなどについては「捜査中」「今後の調査」などと繰り返した。

最近では国税職員が職務に関する事件で立件されるケースが目立つ。2011年、名古屋国税局では現職とOBの不適切な関係が浮上。脱税事件で起訴されたOBの

普段の職務を通じて知り合った相手に内部資料や情報を提供したケースも。今年2月には、在職中に税務調査対象の女性に好意を抱き内部資料を渡したとして、東京都内の税務署の元事務官が国家公務員法(守秘義務)違反容疑で逮捕され、有罪判決を受けた。

着服の元弁護士 懲役14年判決

岡山地裁、9億円超弁護士業務に絡む交通事故の賠償金など9億円以上を着服したとして、

岡山地裁は28日、懲役14年(求刑懲役15年)を言い渡した。

判決理由で中田幹人裁判長は「類例の乏しい巨額の横領だ」と指摘。「弁

1000万円「半分は遊興費に」

岡山遺体遺棄 容疑者が供述

岡山県津山市の山中で(当時87)の遺体が見つかった事件で、死体遺棄

第3705回	自治
数字選択式全国	宝くじ
抽せん結果(28日)	【ナントレ3】
▽793	106,500円
▽ポケット	17,700円
▽セツ	62,100円